

QSK

2025年 春
No. 202

福岡あけぼの会便り



令和6年度 年度報告会

特集



令和6年度 年度報告会

事業所通信
それでも歩こう ~しののめ
家族会便り
後援会コーナー
ともに明日へ ~ トライアングル

<あけぼの会便り発行時期>

- 新春 1月初旬
- 春 3月上旬
- 初夏 5月上旬
- 夏 7月上旬
- 秋 9月上旬
- 冬 11月上旬

印刷・折り込み作業は利用者さんと職員、共同で行っております。発行時期が若干変更になる場合があります。ご了承ください。

令和6年度年度報告会

プログラム	
■ ■ ■ 年度報告会 ■ ■ ■	
09:45	開会 ・理事長挨拶 ・施設紹介
10:10	オリエンテーション
10:15	年度報告会
12:30	年度報告会 閉会予定

年度報告発表	
① サンゼンほかた	⑦ トライアングル
② グループホーム カレツ	⑧ 多機能型ステップアップ
③ 博多区第1障がい者基幹相談支援センター	⑨ ステップアップⅢ型
④ 心の春希望	⑩ ほのぼのHaKaTa
⑤ 多機能型みらい	⑪ ののめ
⑥ グループホーム はーとふる	⑫ 東区第3障がい者基幹相談支援センター
	⑬ みぎわ工房

理事長挨拶

午前の部

年度報告会の発表では、各事業所発表を行い意見をいただくことで、何が必要で何を修正しなければならないかが見えてくると思います。

私たちは、常に専門性を持ち支援を行わなければなりません。

時には立ち止まり、自分の支援に向き合い疑問に持つことも大切な事だと考えています。

皆で支援を考える行動は、支援者の孤立化を防いで、そしてその先に支援をする方々や障がい者の差別や虐待を防ぐことに繋がると信じています。

どのような状況でも、適切に対応する難しさはあるが、違う視点や違う価値観を受け入れられるという、順応性が求められてくると感じているため、この報告会の意義があると思っています。



理事長 判田 章江

各事業所の発表





13事業所それぞれより、今年度の取り組み発表を行いました。
 また質疑応答の時間を設けることで、疑問点や感想をいただき各施設でこれからの業務に繋げられる意見が聞けました。
 ありがとうございました。

ご来賓の皆様のお言葉

各施設の取り組みや事例を聞き、勉強になりました。
 事例に取り組みながらも、実習生を受け入れていただいている事を改めて感謝申し上げます。
 初参加となり、通常は学生を通して報告を聞かせていただきますが、このように専門職の皆様が事例に取り組んでいる機会を知ることができました。今後とも参考にさせていただきますたいと思います。
 本日はありがとうございました。

F・Cフチガミ医療福祉専門学校
 宮本 恵実子様



ご来賓の皆様のお言葉

①あけぼの会は、精神障がい者を支援する団体の中で一番大きな法人。
 ②13事業所それぞれが成果と課題を発表し、情報交換をする機会を設けられており、改めて魅力のある法人と感じました。

また、和やかに進めていただき、和気あいあいの報告会だったと思いました。

本日はありがとうございました。

一般社団法人
 福岡市精神保健福祉協議会
 理事長 清成 厚美様



閉会の言葉

会場をお借りしての報告会は3回目です。報告集を見ると年々進化していると思います。去年は支援をテーマに報告し、今年は事例やケースを報告。13事業所の経験を共有し、経験値を上げる事で、法人全体の支援力が高まっていくと思います。職員が新しい気づきと学びを持ち帰り今後の業務に繋げてほしいと思います。私たちが支援の中で大事にしていることは利用者さんのストレンクス。

私達も個性があるので、自分達のストレンクスを発揮できる法人でありたいと思います。来賓の方におかれましては、当法人の報告会に足をお運びいただきありがとうございました。



午後の部

新入職員紹介・永年勤続表彰



各施設R6年4月以降入職職員より、所属部署、名前、コメントをいただきました。職員はとても緊張していました。



各施設、永年勤続対象職員へ理事長より表彰がされました。職員のコメントとして、「色々な方に助けられてここまでこれました。これからも日々勉強しながら業務に取り組んでいきたいと思えます。」などの思いが聞かれました。



チーム対抗レクリエーション

3つのレクリエーションを、10のチームに分かれて行いました。



チーム内自己紹介

初めにチーム内で自己紹介を行いました。お互いにチームメンバーとしての絆を深めるため、チーム戦に向けての意気込みを一言発表しました。

- ①ペーパータワーゲーム
- ②クイズ大会
- ③バースデーゲーム
- ★優勝チーム★



ペーパータワーゲームは15枚の紙がおいてあり、2分間の作戦タイムのあと、5分間でどれだけ高く積み上げられるかを競うゲームです。皆さん作戦会議を入念に行っていました。

この以心伝心！施設長クイズでは、質問に対して回答者が何を答えるか考えていくクイズです。そのため、答えは回答者しかわかりません。各チーム回答者が何を考えているかチームで話し合いクイズに答えていました。

1月1日から12月31日の順番で時計回りに円を作り、1月1日の方から順番に、自分の並んだ番号を発表し、理事長よりボックスから番号札をとっていただき同じ番号の方にはラッキー賞として景品を進呈しました。

レクリエーションでは他事業所との交流が深まり、とても大盛り上がりとなりました。優勝チームおめでとうございます！

次年度の抱負

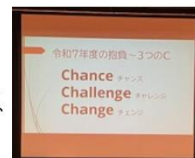
令和7年度の抱負は3つのCとなります。

- ①チャンス②チャレンジ③チェンジ

色々な事を掴み、変化する年にしたいと思っています。

その為にも職員が、3つのCを意識し日々の業務に取り組んでいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

理事長 判田 章江



事業所通信

心の春希望

昨年も希望では年末行事のクリスマス会が開催されました。今回は出し物でカラオケを歌われた方が多く、飛び入り参加も数人ありました。キレイな歌声でのクリスマスソングが部屋中に響き渡っていました。ビンゴゲームではリーチと声が飛び交い、各々気に入った商品を持って帰られました。ボランティアさん達のお手伝いもあり、また賑やかなクリスマス会となりました。



しののめ

年も明けた新年、1月4日（土）に初詣に行きました。護国神社としののめ（荒江）の近くにある荒江櫛田神社に二手に分かれてお詣りへ。しっかりとお詣りできました。お昼はしののめでも時々お弁当を注文しているカフェに食べに行きました。それぞれ好きなものを注文し、おいしく楽しい時間を過ごしました。



みらい

12月27日に、『お疲れ様でした会』を実施しました！2024年のお仕事の締めくくりとして大掃除を行ったあと、あつあつのおでんをメインとしたバイキング形式のお食事や、各部署担当スタッフによる豪華景品付きじゃんけん大会を楽しみました！美味しいおでんやお食事を利用者、スタッフで一緒に食べて楽しい時間を過ごしました。じゃんけん大会も盛り上がり、笑顔が沢山あふれていました！『大掃除』、『お疲れ様でした会』をして、良い2024年の締めくくりとなりました☆2025年も沢山働き、みらいスタッフ・利用者一同、元気に過ごしたいと思います！



福岡あけぼの会アート展

第5回
福岡あけぼの会
アート展

R7.5月19日(月)～5月31日(土)
10:00～17:00
※5月25日(日)は閉館です

会場:福岡あけぼの会本部 2階ギャラリー
(住所 福岡市南区大橋1丁目35-17)

主催: 福岡あけぼの会
福岡あけぼの会後援会

あなたのアート募集します

福岡あけぼの会では、障がいのある人達の制作活動を支援し、その素晴らしさを伝える為、『福岡あけぼの会アート展』を開催致します。秋から春の間催しにお越し。理事長賞作品は、『あけぼの便り』夏号の表紙として採用することが決まっています。元気の出るみんなのアート展として、皆様の応募をお待ちしております。

作品応募締切
4月19日(土)まで

それでも歩こう

「心の安らぎ」

連載コラム No. 48

私がしののめに就職して2年が経ちました。初めてしののめに来た時のことを昨日のここのように覚えています。「ちゃんと働けるのだろうか」「スタッフさんやメンバーさんとうまくやってくれるのだろうか」と不安がいっぱいで、バスに乗るのもドキドキしました。「このバスで合っているのかな」と心配になり、その場にいたバス会社の職員さんに合っているか尋ねたところ、朝の忙しい時間帯にも関わらず、「このバスとこのバスは大丈夫ですよ。いってらっしゃいませ」と笑顔で言ってくださいました。優しい対応に癒され、ドキドキしながらバスを降り、しののめに到着。その当時施設長だった判田理事長が走ってきて「早かったね！」と笑顔で迎え入れてくださった瞬間、私は「ああ、大丈夫そう」とほっとしました。そしてしののめのスタッフ、メンバーともに温かく迎え入れてくださり、私は今、安心して楽しく働いています。この2年、メンバーのことや作業のことでいろいろなことがありました。出会いもあれば、別れもありました。今後、私ももしかしたら異動や何かしらの変化があるかもしれません。それでも、周囲の人々に助けられながら、そして私も誰かの助けや安心できるような存在を目指しながら、日々生きていこうと思います。

渡邊 榛日



家族会便り



今年の活動から感じられたこと

私たちしののめ福祉会では、筑後市の社会福祉協議会の方から見学・交流の希望があり1月19日（日曜日）の定例会に家族3名、当事者1名、職員2名の方に来ていただきました。

筑後市では社会福祉協議会が主催をして「家族の集い」が行われているようです。

私たちはいつものように参加者それぞれの近況報告をし、その後交流会をしました。交流の中で「2012年から”ひまわりの集い”」という名で2カ月に1回行ってきているがコロナ以降参加者が減っているのが悩みではあるが、必要な方がいらっしゃれば細く長く続けていきたい。」と話されました。

しののめ福祉会も高齢化は免れないが、近年「家族による家族学習会」を開催する中で少しずつ会員を増やすことができていることなどを話しました。

また、筑後市の家族の方から近況報告を聴いて「急性期近い状態を繰り返している当事者が多いのに驚いた。やはり都会のほうが当事者にとって生きにくいのかと思った」と話されました。また、参加された当事者の方からは、「家族の視点ばかりではなく、当事者の立場に立ってなぜ服薬したくないのかなど考えてほしい」との指摘がありました。

今回見学・交流に来ていただいたことにより家族会同士の交流の大切さを感じました。そして家族会以外の機関とも交流を深める大切さも学びました。

幸い、今年度は3月15日（土曜日）に福岡市社会福祉協議会の方をお招きして「成年後見人制度」について学習をします。これを機会に、社会福祉協議会の方との交流も深めていければと思います。



福岡あけぼの会後援会コーナー

〒815-0082
福岡市南区大楠1丁目35-17
電話 092(791)5858
mail kouenkai@f-akebonokai.jp

福岡あけぼの会アート展
5月19日〜31日
本部ギャラリーで開催

第5回
福岡あけぼの会
アート展

障がいのある人達の制作活動を支援し、その素晴らしさを伝えるために開催いたします。秋から春への開催へお引越しいし。作品募集締め切りは4月19日まで。
応募作品は必ず展示されますので、家族や知人・友人・職場の方と観にいらして下さいます。
お待ちしております。
理事長賞作品はこのあけぼの便りの夏号表紙に採用予定です。
多くの方に自分の作品を届けるチャンスです。
展示期間中は喫茶みらいも休まず営業します。
美味しいランチとともにお楽しみください。



糸島清掃ボランティア活動
国定公園の糸島市志摩(なぎ)の浜海岸の松林

の再生、保存活動を続ける福岡あけぼの会「リフレッシュ&ボランティア」の活動は3月8日(土)に開催します。
今回はランチビュッフェで交流会も予定。お腹いっぱい食べて、張り切って活動しましょう。



★お知らせ★

後援会事務局を多機能型みらい所属の榎本と浦塚が担当することになりました。新規募集や更新手続きなど皆様とお会いする機会もあるかと思えます。坂井会長をお支のスタッフを模索していただく所存です。
どうぞ引き続きよろしく
お願いいたします。

◇令和7年度後援会員募集◇

社会福祉法人福岡あけぼの会の活動をサポート

する令和7年度(4月〜翌3月)後援会員を募集。ご協力をお願いいたします。
【会費】
個人 000円
▽団体 5,000円より
▽障がいのある方 500円

【入会方法】
後援会事務局、法人各事業所(施設)での直接受け付けと郵便局での振込みがあります。
▽郵便局でのお振込みは▽口座番号 017990101129940
▽加入者名 福岡あけぼの会後援会

【会員特典】
秋開催のあけぼの祭り来場者特典を企画中▽福岡あけぼの会便り(後援会ニュース掲載)のお届け▽バスハイクやクリスマス会など法人合同企画への参加▽例会への参加(文責：榎本美千代)



事業所紹介

施設名	郵便番号	住所	電話番号	Mail
本部事務局	815-0082	福岡市南区大楠1丁目35-17	092-791-7472	honbu@f-akebonokai.jp
多機能型事業所	多機能型みらい	815-0082 福岡市南区大楠1丁目35-17	092-524-4121	mirai@f-akebonokai.jp
	多機能型ステップアップ	811-2314 糟屋郡粕屋町若宮1丁目1-18	092-938-9388	stepup@f-akebonokai.jp
就労継続支援事業B型	しのめ	814-0101 福岡市城南区荒江1丁目23-25	092-851-7528	shinonome@f-akebonokai.jp
	しのめプラス	814-0104 福岡市城南区別府5丁目8-19	092-834-4336	shinonome@f-akebonokai.jp
	ほのぼのHaKaTa	812-0041 福岡市博多区吉塚1丁目12-53	092-409-8318	honobono@f-akebonokai.jp
	みぎわ工房	816-0943 大野城市白木原4丁目1-5	092-592-3942	migiwa@f-akebonokai.jp
	トライアングル	811-2417 糟屋郡篠栗町中央4丁目15-3	092-947-3173	triangle@f-akebonokai.jp
地域活動支援センター	心の春希望(I型)	815-0082 福岡市南区大楠1丁目35-17(2F)	092-524-4153	kibou@f-akebonokai.jp
	サンサンはかた(I型)	812-0041 福岡市博多区吉塚3丁目18-36	092-409-2471	sansan@f-akebonokai.jp
	ステップアップ(III型)	811-2314 糟屋郡粕屋町若宮1丁目1-17	092-938-6702	stepup3@f-akebonokai.jp
区障がい者 基幹相談支援センター	博多区第1障がい者基幹 相談支援センター	812-0041 福岡市博多区吉塚3丁目18-1	092-409-2478	hakata1kikan@f-akebonokai.jp
	東区第3障がい者基幹 相談支援センター	812-0054 福岡市東区馬出1-2-23第1岡部ビル102号	092-292-5604	higashi3kikan@f-akebonokai.jp
グループホーム	カレッタ	814-0033 福岡市早良区有田5丁目24-27	092-873-2578	caretta@f-akebonokai.jp
	はーとふる	811-2405 糟屋郡篠栗町大字篠栗3697-1	092-947-6805	heartfull@f-akebonokai.jp

第55回



トライアングル

811-2417
糟屋郡篠栗町中央4-15-3
TEL 092-947-3173
FAX 092-410-3000

トライアングルでは月に一度、厨房部門、内職部門それぞれにメンバーミーティングを行っています。ミーティングでは作業の報告とともにテーマを決めて、参加者一人一人が発言する機会を設けています。

昨年12月に行った厨房メンバーミーティングは「みんなで褒め合う」をテーマに話しました。どんな言葉をかけられたらうれしいかを伝えあった後、頑張ったことを発表しました。発表に対して、かけられたら嬉しい言葉「良かったね」「頑張ったね」「すごいね」と拍手を送り、お互いの一年の労をねぎらいました。

内職ミーティングでは「好きな言葉」テーマに話しました。Aさんはお姉さまからの言葉「あなたはやれる」やお父様からの言葉「病は気から」に励まされているそうです。Bさんは玉置浩二の「田園」の歌詞から「それでいいんだ」という言葉が好きだと話してくれました。Cさんは心がけている言葉として「思い立ったら吉日」と教えてくれました。

ミーティングという身構えてしまう人も、気楽に発言できる場にしたいと思い、テーマは話しやすい内容を選んでいきます。これまでのミーティングで、作業を通じてだけではわからなかった新たな一面や人柄にふれられる機会になっていると感じています。これからも一緒に働く仲間との相互理解を深め、協力し合える関係性を作っていきたいです。

- ①写真コメント：ミーティングの日程はトライアングル通信で案内しています。
- ②写真コメント：内職ミーティングは午前と午後の2回に分けて行っています。

①



②



「福岡あけぼの会便り」バックナンバーはこちらからご覧いただけます。→



【編集】社会福祉法人福岡あけぼの会 〒815-0082 福岡市南区大橋1丁目3番5-17 ☎ 092 (791) 7472 (代)
 【発行】九州障害者定期刊行物協会(QSK) 〒812-0068 福岡市東区社領1丁目12番4号
 年会費 2,000円(購読料含む) 一部 100円